

シリーズ「生活習慣病の一次予防を考える～超高齢社会を見据えて～」第3回 健やかな高齢者社会を目指して、今できること ～健康経営の視点から～

少子高齢化の一途をたどるわが国で、高齢者が安心して生きていける社会にするためには、これから社会の担い手となる若い世代や、働き世代からの健康づくりが重要なカギとなります。

セミナーシリーズ最終回の本セミナーは、直近の国民健康栄養調査からの報告を踏まえて、今なぜ認知症、フレイルが、健康長寿社会にとって重要な問題かを考えます。若い世代から高齢者までの健康寿命の問題を縦断的に捉え、わが国の生活習慣病対策に、新たな視点を提供いたします。

日時：平成29年 10月4日(水) 14:00～17:05 (開場 13:30 終了時刻は予定です)

会場：有楽町朝日ホール 定員：600名 お申込みは、裏面をご覧ください。

(千代田区有楽町2-5-1 有楽町マリオン11F)

参加費無料

主催者挨拶 ころとからだの元気プラザ 統括所長 及川 孝光

ご挨拶 厚生労働省 健康局 健康課長 正林 督章氏

座長より「超高齢社会を迎えたわが国の生活習慣病を縦断的に捉える」



寺本 民生 先生

帝京大学臨床研究センター センター長、
ころとからだの元気プラザ 理事

基調講演「国民健康・栄養調査から見たわが国の現状」



瀧本 秀美 先生

国立研究開発法人 医薬基盤・健康・栄養研究所
国立健康・栄養研究所 栄養疫学・食育研究部長

講演「認知症予防に、今できること」



秋下 雅弘 先生

東京大学大学院医学系研究科 加齢医学 教授、
東京大学医学部附属病院 副院長 老年病科科長

講演「フレイル・ロコモ・サルコペニア予防に、今できること」



荒井 秀典 先生

国立長寿医療研究センター 病院 副院長

○パネルディスカッション

座長 寺本民生 先生

パネリスト 瀧本秀美 先生、秋下雅弘 先生、荒井秀典 先生 (ご登壇順)

終演挨拶 ころとからだの元気プラザ 名誉所長 高築 勝義

主催 医療法人社団 ころとからだの **元気プラザ** / 一般財団法人 東京顕微鏡院

後援 厚生労働省(予定)、東京都、 健康日本 21 推進全国連絡協議会、日本栄養士会、東京都栄養士会

